

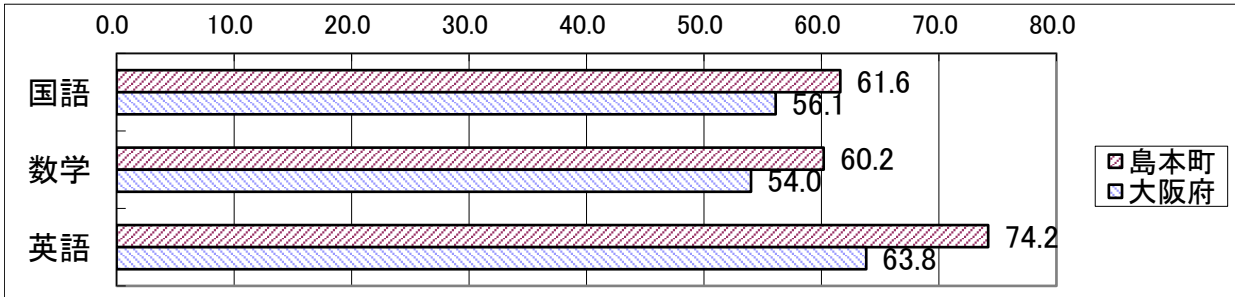
令和2年度 大阪府中学生チャレンジテスト結果概要<1年生>

島本町教育委員会

1. 実施日時: 令和3年1月13日(水)
2. 対象・内容: 第1学年<国語・数学・英語、生徒アンケート>

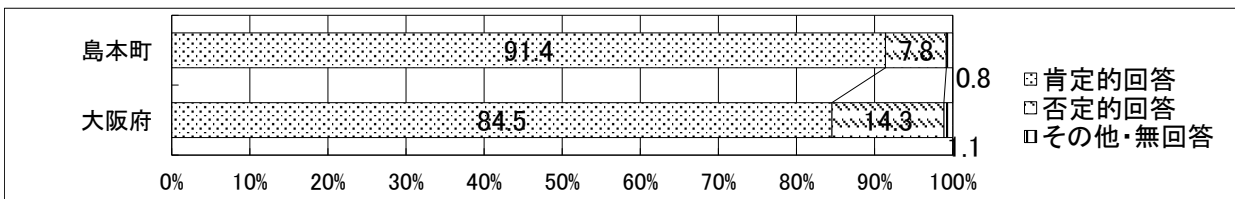
1. 教科別結果概要(平均点)

	国語	数学	英語
島本町	61.6	60.2	74.2
大阪府	56.1	54.0	63.8

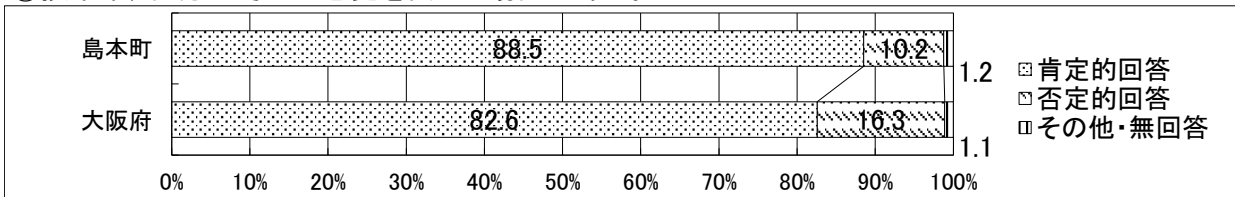


2. アンケート(抜粋)

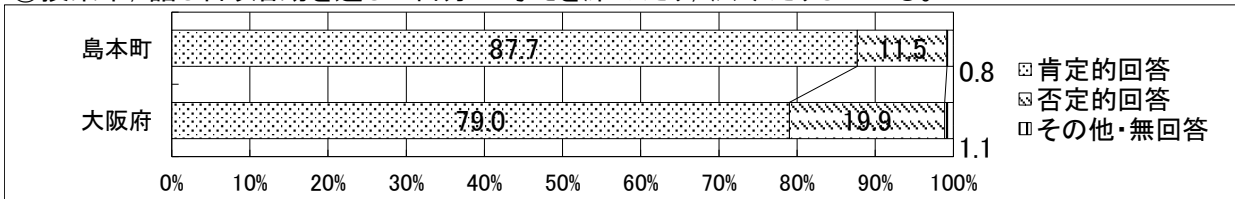
①授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



②授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



③授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



3. 分析等

・教科別学習状況については、いずれも府の平均を上回った。無解答率についても、どの教科も概ね府の平均を下回るなど、解答状況は良い。中でも、英語については、府の平均を10.4ポイントも上回り、良好な結果となった。本町が進める英語教育推進事業の成果と言える。

・生徒アンケートの結果より、自分の考えを「ノートやプリントに書く時間」「話し合う活動を通じて深めたり、広げたりしている」のいずれの肯定的回答が90%前後となっており、府平均より高い。このことは、新学習指導要領の内容でもある「主体的・対話的で深い学び」が実現されていると考えられる。

これらのことを踏まえ、引き続き、新学習指導要領の内容を取り入れ、指導内容と学習評価、生徒の学習意欲等、複合的な観点から授業研究を進めていく必要がある。